



標準型救急車（通称2B型）のドクターカー改造例

今回は、NICU仕様への改造要望。

クベウス搬送の際に加温加湿器も使用したいため、余裕をみて1000Wの電気出力が欲しいとの強いご要望から、今回は、日産NV350をベース車として選択しました。

ルーフをカットし超ハイルーフ改造を施すことで、室内で立って作業することも可能です。



FERNO社製ストレッチャー #4080改

- ・保育器（アトム社 インキュアーチ）と
 - ・呼吸器（日本光電 HAMILTON T1）
 - ・汎用IVポール
- が、固定できるようになっております。

インキュアーチ下部のポンペ庫も特注対応品になります。

長距離搬送を考慮し患者室には、酸素ポンペ1500型×3本、空気ポンペ1500型×3本 装備しました。



防振架台は、VCS-03と組み合わせました。
軽量化のため、ヘッドパッドは無しにしております。



HAMILTON T1
加温加湿器を装備

インバーターは、1000Wを装備しています。



オーソドックスな外観デザインですが、反射材を利用。特に側面下部にはさりげなく白色反射材を貼り、安全性を高めました。



アラウンドビューモニターの側面カメラは、ドアミラー下に装着されています。

AKAO 救急車 相談窓口

株式会社 赤尾・特需部 救急担当
東京都千代田区外神田6-13-13
03-3832-2204